

農林漁業現地情報（一般情報）

大豆の事例

6 農林水産物の流通加工対策・消費者対策の推進

スイートコーン・大豆の契約栽培

〔岐阜・古川町〕

- 食品会社の要請で加工に工夫 -

吉城郡古川町の農業法人「エイトスタッフ」では、岐阜市内の食品加工業(有) K食品と直接契約を結び、平成15年産からスイートコーン(4ha)と大豆(8ha)の契約栽培を始めた。

これは、K食品が古川町役場を通して栽培委託先を探していたところ、水稻受託などに実績がある「エイトスタッフ」との取組みの始まったものである。

飛騨地域では、企業との大規模な直接取引は珍しく、関係者の間では、注目されている。

同法人では、14年より、大豆(6ha)とスイートコーン(0.3ha)を試験栽培を行い、価格も比較的高く設定されていることから、収益の目途も立っている。

将来は地元加工場を建設し、スイートコーンをゆでて真空パックにするほか、冬期は、大豆も水煮に加工し、パック詰めする予定である。

エイトスタッフのリーダー的存在の田中一男さんは、「遊休農地が増えてきたので、地元の方に手伝ってもらって、今後は山菜の栽培や加工なども模索していきたい」と意欲を燃やしている。

連絡先：岐阜県吉城郡古川町殿町1-22 田中 一男

(電) 0577-73-6194 (夜間のみ) FAX 0577-73-6194